

覚え書

加藤弘之の来翰について

——昭和五十六年一月二十八日、大久保利

謙先生の談話——

加藤弘之の孫、成之氏から生前きいた話によれば、弘之は自分宛の来翰がある程度たまと折にふれ書生にそれらを破らせ、焼き捨てさせるのを常としていたという。おそらくはこうして膨大な量の手紙類が失われたものと思われる。特に他所からの来翰をこのように処分していたという点は、加藤弘之史料目録(2)に含まれる書翰の多くは家信であることと合致し、その理由を知ることができる。

(小川千代子 記)

彙報

昭和五十五年一月から昭和五十七年十二月までの東京大学百年史編集室における事業の概要は次のとおりである。

〈資料収集〉

○学内資料調査

・昭和55年8～10月、教養学部所蔵の東京大学予

備門関係文書、第一高等学校一覽、同生徒成績表の複写を実施。

・昭和55年6月、医学部教務掛所蔵の医学部関係資料を調査、複写。

・昭和55年10月、学生部より地下倉庫改装に際して資料の一部回収。

・昭和55年11月、医学部解剖学教室標本室調査。

・昭和56年8月、学生部所蔵資料調査。

・昭和56年9月、入学主幹室所蔵資料調査。

・昭和56年9月、国際主幹室所蔵資料調査。

・昭和56年10月、事務局関係資料の保管場所に関する概略調査。

・昭和57年10～12月、医学部、理学部、教育学部、史料編纂所、工学部の各事務室(事務部)保存資料の概略を調査。

○聴取り調査

・昭和56年1月、2月、11月、旧職員原武福治氏の聴取りを3回実施。会計制度について。

・昭和56年7月、元演習林事務長伊藤清氏の聴取りを実施。

・昭和56年10月、工学部名誉教授鶴戸口英善氏の聴取りを実施。

・昭和57年5月、熱帯農業員養成所につき浜松医科大学図書課長加藤誠之助氏の聴取りを実施。

・昭和57年8月、元営繕課長拓植芳男氏の聴取り

を実施。

・昭和57年4～10月、各国大学アーカイヴズに関する聴取りを実施。百年史編集室専門委員(現室長)寺崎昌男氏(米国・スタンフォード大学)、新潟大学教授渡辺正雄氏(米国の諸大学アーカイヴズ等)、国立教育研究所次長横尾壮英氏(ヨーロッパのアーカイヴズ)、教養学部講師彌永史郎氏(ポルトガル・コインブラ大学)、和光大学助教授田中征男氏(米国・カリフォルニア大学バークレイ校)。

○学外資料調査

・昭和55年3月、井上梧陰文庫(国学院)を調査。

・昭和55年7月22～25日、福井市立郷土歴史博物館、松平春嶽文庫調査。金沢市立図書館江戸前田藩邸(加賀屋敷)の図面調査、複写。

・昭和55年8月20～22日、北海道大学百年史編集室訪問、調査。

・昭和55年10～12月、第三高等学校同窓会所蔵資料調査、複写。

・昭和56年1月、宮内庁宮務課にて池田謙斎、石黒忠憲の履歴調査。

・昭和56年1月28～31日、京都・三高会館、京都大学教養部、大阪大学事務局、同五十年史資料・編集室等を訪問、調査。

・昭和56年6月、村上健三氏（東洋女子高等学校校長）より、村上専精関係資料を借用。

・昭和56年7月13～16日、京都大学事務局訪問、調査。

・昭和56年11月24～26日、京都・同志社社史史料編集所、陽明文庫、京都博物館等を訪問、見学、調査。

・昭和57年2月、順天堂大学山崎文庫訪問、調査。

○資料の寄贈等

・昭和55年8月、三上参次氏談話記録（談旧会）草稿（第1～19回分）を借用、複写。

・昭和56年4月、向坊前総長関係資料の寄託をうける。

・昭和56年6月、元総長事務取扱佐藤寛次氏遺族佐藤ひさ氏来室。『佐藤寛次伝』及び『東大とともに五十年』の寄贈をうける。

・昭和56年7月、元総長長与又郎氏の日記を、女婿清水文彦氏（元東京医科歯科大学教授）より借用、複写を作成した。

・昭和56年10月、小池正行岐阜大学助教より、小池行松氏旧蔵の思想取捨関係図書及び資料寄託。

・昭和57年1月、職後教育改革に関する文部省旧職員のみぎとりテープ19本と関連メモを借用。

・昭和57年1月、大河内暁男経済学部教授より、

大内兵衛「矢内原問題の経過概要」（ガリ版刷りメモ）を借用、複写。

・昭和57年8月、元文学部長坪井九馬三氏の日記等旧蔵資料を調査、百年史編集室に保管。

○諸展示会の見学

・55年12月、国立国会図書館主催「議会開設九十年記念議会政治展示会」見学。於憲政記念館。

・56年10月、国立公文書館開館十周年記念「貴重資料展」見学。

・57年3月、衆議院憲政記念館第5回憲政史特別展見学。

・57年10月、国立公文書館「明治事始め」展」見学。

・57年10月、「国立国会図書館所蔵個人文庫展」西欧学術の追求」見学。

○大学アーカイヴズに関する調査

・昭和55年4月、国内の国・公・私立大学に対し、アーカイヴズに関するアンケート調査を実施。回収80校。

・昭和55年5～7月、新潟大学教授渡辺正雄氏の協力を得て、外国大学アーカイヴズ概要調査を実施。調査紙発送数約500通、回収180通。

なお、本調査はフジゼロックス・ワードプロセッサ―販売課の多大な協力によるものであった。

特に記して謝意を表する。

△編集作業△

○通史編の執筆、校訂

・昭和55年5月、タイプ稿の作成に着手。

・昭和55年4月、第二巻目次完成。

・昭和56年7月より、第一巻の体裁統一作業および校訂を開始。

・昭和57年1月より、写真資料の収集・整理作業に着手。

・昭和57年12月現在、タイプ稿による第一巻の校訂はほぼ終了。

○資料編の原稿作成

・既に収集した複写資料の原稿化作業を続行中。

△研究活動△

○「東京大学史史料目録」の刊行

・昭和55年3月、東京大学史史料目録6、「歴代総長年譜第三部」を刊行。B5判、18ページ。担当小川千代子。

・昭和55年3月、東京大学史史料目録7、「加藤弘之史料目録(2)」を刊行。B5判、13ページ。担当梅沢ふみ子。

・昭和56年3月、東京大学史史料目録8、「歴代

総長年譜第一部」を刊行。B5判、27ページ。担当酒井豊、古屋野素材、小川千代子ほか。

昭和57年7月、東京大学史料目録9、「平賀謙史料目録」を刊行。B5判、30ページ。担当照沼康孝。

○「東京大学史紀要」第四号の刊行

58年7月、百年史編集室研究報告誌「東京大学史紀要」第四号を刊行。B5判、九三ページ。

△その他▽

○資料調査・閲覧および調査依頼

55年3月、大阪大学五十年史編集実行委員2名来訪、編集室見学。
55年8月中、合計12名来訪あり。
55年9月、合計6名来訪、電話による調査依頼3件6名。

56年5月中、調査依頼5件。
56年10月、大阪大学五十年史資料・編集室員来訪、調査。

56年12月、北海道大学百年史編集室より、電話問合せ。
56年12月、東洋大学百年史担当者2名来訪。
56年12月、グラスゴー大学、チェックランド女史来訪。

57年1～3月、調査依頼3件、4～6月同4件、7～9月同11件、10～12月2件。

○学内共同研究

東京大学創立百年記念研究奨励金による学内共同研究「東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究」が昭和56年度一八〇万円、57年度一二〇万円と継続して認められた。総合研究資料館と共同で、大学アーカイヴズおよび大学ミュージアムのあり方についての研究を行うものである。昭和57年6月、中間報告書提出。

○「東大百年史編集室通信」

「学内広報」の紙面を借りて、5号毎に55年1月より57年12月までに13回、50年より通算で50回掲載。

○百年史編集室所蔵図書

57年12月20日現在、所蔵図書は未整理本を除き四、二一〇冊、うち購入図書三、五七六冊、寄贈図書六三三四冊。

○百年史編集室構成員 昭和58年7月現在

室長 寺崎 昌男(教育学部教授)
専門委員 稲垣 榮三(工学部教授)
伊藤 隆(文学部教授)

益田 宗(史料編纂所教授)

護 雅夫(学外)

土田 直鎮(学外)

常勤室員 中野 実

小川千代子

非常勤室員 古屋野素材(慶応義塾大学講師)

照沼 康孝

柴崎 力榮

季武 嘉也

酒井 豊(青山学院大学助教授)

前田 一男

清水 康幸

田辺 久子(青山学院大学講師)

小熊 伸一

山口 元子

新堀 啓子

執筆員 梅沢ふみ子(史料編纂所助手)

館 昭(奈良教育大学助教授)

三谷 博(学習院女子短期大学助教授)

羽田 貴史(福島大学講師)

狐塚 裕子

新谷 恭明(九州大学講師)